

2015 年度サポートシステムあゆみ 事業報告書

戸田拓郎

前年度 3 月より活動場所の整理として、成人の施設利用後の支援プログラム「ちょこっとステイ」の一部をオープンスペース「AYUMI」2 階で行ってきたが、各利用者もスムーズに移行する事ができ、落ち着いて過ごせている。これにより、放課後等デイサービスにおいても「デイジー」内での混雑さが解消され、より充実した活動となっている。

昨年度に終了した「ピッコロ」の後継の音楽プログラムとして、講師に音楽療法士の水野先生を招いて「ケチャケチャ」を 5 月から前後期に分けて 10 回実施した。これまでになかった和太鼓の活用も好評で、各参加者にとっての新たな体験の場となっている。

事業所内外での活動中に利用者の突発的な行為に起因する事故（軽症の怪我・物損）が数回起き、また職員の人為的ミスによるガス漏れが発生した事もあり、危険予測・行動予測の意識を高める、職員間の連携を強める事、環境整備・安全確認等を徹底していく事で事故防止を図っているところである。何よりも利用者の命を守る事を最優先に考えた行動を取れるよう、今後も意識を徹底していく。

地域交流の一環として計画していた「チャリティーラン」に関しては、今年度は時機が合わず参加を見合わせたが、今後も地域との交流の機会を伺っていきたい。

各事業の状況は以下の通り。

◎行動援護

5 名のスタッフが、行動援護従業者養成研修を修了した。余暇支援のニーズは依然高くあり、週末や平日の日中、特に夕刻を中心に多く利用がある。また、生活リズムの維持等を目的としたマンツーマンでの活動ニーズにも引き続き応えてきた。

◎居宅介護・同行援護・重度訪問介護

居宅介護では利用者宅での家事や入浴の支援、通院時の付き添い、介助等、固定的なニーズに応えてきた。同行援護においては 2 名の利用者の月 1～2 回の外出ニーズに応えている。重度訪問介護は対象者がいなかった。

◎日中一時支援

平日の施設利用後の「ちょこっとステイ」が主な利用だが、生活介護との同日利用を特例で認められていた利用者の多くがその期間を終えた為、前年度よりも大幅に利用が減った。季節のイベントプログラムとして土曜日に実施したバーベキューとクリスマス会には多数の参加があった。

◎移動支援

週末の余暇支援や平日に体力作りや日常生活上の外出等、多様なニーズに応えてきた。特に週末の余暇支援的な外出の利用ニーズは依然として高く、総利用時間数は前年度よりも更に増加した。

◎放課後等デイサービス

今年度より自宅への送迎にも送迎加算を適用した事で利用しやすくなった事もあり、どの曜日でも

利用頻度が高くなった。一日の平均利用人数は定員 10 名に対して、26 年度の 4.6 人から 27 年度は 7.2 人に上がった。これまで比較的少なかった小学校低学年の児童の利用が増え、活動内容もより動きのある活発な遊びを取り入れる事が多くなった。時々施設の 2 階でのトランポリンやボールプール等を使用しているが、特に戸外遊びが安全にできる場所の確保が必要であり近隣の公園で対応した。

◎インフォーマルサービス

「ちょこっとステイ」（日中一時支援以外）や送迎サービスの他、公的サービスが利用できない時等に必要に応じてレスパイトサービスを行った。また、上述の「ケチャケチャ」も実費プログラムとして継続的に実施した。